教育・心理学部

＜卒業条件＞

卒業するためには、学部が定めた卒業条件を満たす事が必要です。なお、所属学科の他専修・他コース科目の単位は、自学科の単位として扱われます。

① 4年間以上在学した上で、第4学年を修了する

② 計124単位以上の修得

・ただし、自由科目の単位数は除く

・他学部・他学科・他大学単位互換科目は含む

③ 修得した単位の内、自学科の総合基礎科目28単位以上含む

④ 修得した単位の内、自学科の専門科目66単位以上含む

⑤ 卒業必修科目（必修科目および選択必修科目）の単位修得（該当する科目は「授業科目履修規定別表」（P.19 ～ 20）を確認してください）

⑥ 学部所定の要件に従い、卒業研究を提出し、合格する

●全学共通科目の必修科目、全員履修科目

授業科目名称	学年・期		単位数	学科・専修・コース			備考
				保育	学校	心理	
スポーツ実技	1	通	2	●	●	△	
フレッシュマンイングリッシュⅠ－1	1	前	1	●	●	●	
フレッシュマンイングリッシュⅠ－2	1	後	1	△	△	△	
フレッシュマンイングリッシュⅡ－1	1	前	1	●	●	●	
フレッシュマンイングリッシュⅡ－2	1	後	1	△	△	△	
情報処理演習Ⅰ	1	前	2	●	●	△	
情報処理演習Ⅱ	1	後	2	△	△	△	
言語と文化Ⅰ	1	前	1	△	△	○	いずれかの言語のクラスをⅠⅡ
言語と文化Ⅱ	1	後	1	△	△	○	セットで履修

●必修科目　△全員履修科目　○選択科目

※外国人留学生入試による入学者は、原則として、フレッシュマンイングリッシュの代わりに「日本語と文化Ⅰ－1～Ⅳ－2」を修得します。

●学部共通科目の必修科目、全員履修科目

授業科目名	学年・期		単位数	学科・専修・コース			備考
				保育	学校	心理	
保育実践入門	1	前	2	△	○	○	
教育実践入門	1	前	2	○	△	○	
障害学入門	1	前	2	○	○	○	
心理学概論	1	前	2	○	○	●	
総合演習Ⅰ	1	前	2	△	△	△	
日本国憲法	1	後	2	●	●	○	
総合演習Ⅱ	1	後	2	△	△	△	
保育学基礎演習	2	前	2	△	×	×	
教育学基礎演習	2	前	2	×	△	×	
心理学基礎演習	2	前	2	×	×	△	

●必修科目　△全員履修科目　○選択科目　×履修不可科目

【授業科目履修規定別表】

学部共通

1、所属する学科の総合基礎科目 28 単位以上、専門科目を 66 単位以上修得し、他学部・他学科開講科目を含めて、合計で 124 単位以上修得していること。ただし、自由科目を除く。

2、学部所定の要件に従い卒業研究を提出し、合格していること。

子ども発達学科	学校教育学科	心理学科
■卒業必修科目 スポーツ実技 ﾌﾚｯｼｭﾏﾝｲﾝｸﾞﾘｯｼｭⅠ-1 ﾌﾚｯｼｭﾏﾝｲﾝｸﾞﾘｯｼｭⅡ-1 情報処理演習Ⅰ 日本国憲法 子ども発達学専門演習Ⅰ 子ども発達学専門演習Ⅱ 以下の科目から 10 単位以上修得すること。 保育原理Ⅰ 保育原理Ⅱ 教育原理（幼保） 教育と発達の心理学（幼保） 保育・教育制度論 保育方法論Ⅰ 保育方法論Ⅱ 保育職論 社会福祉論 保育・教育課程論 特別支援教育概論（幼） 子ども家庭福祉論Ⅰ 子ども家庭福祉論Ⅱ 子ども家庭支援論 社会的養護 教育福祉論 障害者論 学童保育論 以下の科目から 2 単位以上修得すること。 保育内容演習 乳幼児と音楽（演習） 乳幼児と造形（演習） 乳幼児と健康（演習） 乳幼児と言葉（演習） 乳幼児と人間関係 乳幼児と環境 以下の科目から 16 単位以上修得すること。 からだと健康（保育内容A） 仲間と交わり（保育内容B） 生活と環境（保育内容C） 発達と言葉（保育内容D） 感性と表現（保育内容E） 音楽表現 造形表現 身体表現 子ども理解の理論と方法 教育・臨床相談の基礎演習 保育カンファレンス演習 子どもの食と栄養演習 子ども家庭支援の心理学 子どもの理解と援助 子どもの保健	■卒業必修科目 スポーツ実技 ﾌﾚｯｼｭﾏﾝｲﾝｸﾞﾘｯｼｭⅠ-1 ﾌﾚｯｼｭﾏﾝｲﾝｸﾞﾘｯｼｭⅡ-1 情報処理演習Ⅰ 日本国憲法 学校教育学専門演習Ⅰ 学校教育学専門演習Ⅱ 以下の科目から 2 単位以上修得すること。 教職入門 教育と発達の心理学 教育原理 教育制度論 特別支援教育概論 以下の科目から 4 単位以上修得すること。 教育課程論 教育方法論(情報通信技術の活用含む) 生徒・進路指導論 道徳教育の理論と方法 特別活動方法論 教育相談の基礎と方法 以下の科目から 4 単位以上修得すること。 国語科研究 社会科研究 算数科研究 音楽専門研究Ⅰ 造形専門研究Ⅰ スポーツ専門研究Ⅰ 理科研究 生活科研究 家庭科研究 外国語研究 以下の科目から 4 単位以上修得すること。 社会福祉論 子ども家庭福祉論Ⅰ 子ども家庭福祉論Ⅱ 学校福祉論 教育福祉論 司法福祉論 以下の科目から 4 単位以上修得すること。 国語科教育法 社会科教育法 図画工作教育法 音楽科教育法 体育科教育法 算数科教育法 理科教育法 生活科教育法 家庭科教育法 外国語教育法	■卒業必修科目 ﾌﾚｯｼｭﾏﾝｲﾝｸﾞﾘｯｼｭⅠ-1 ﾌﾚｯｼｭﾏﾝｲﾝｸﾞﾘｯｼｭⅡ-1 心理学概論 心理学研究法 心理学実験 心理学専門演習Ⅰ 心理学専門演習Ⅱ 以下の科目から 4 単位以上修得すること。 発達心理学 心理学統計法 精神疾患とその治療 福祉心理学 心理療法論 コミュニケーションスキル演習Ⅰ

乳児保育論 乳児保育演習 障害児保育演習 子どもの健康と安全 ソーシャルワーク演習 社会的養護内容演習 子育て支援演習 教育実習Ⅰ（幼・事前事後） 教育実習Ⅱ（幼） 保育・教職実践演習 保育実習ⅠA（保育所） 保育実習指導ⅠA（保育所） 保育実習ⅠB（施設） 保育実習指導ⅠB（施設） 保育実習Ⅱ（保育所） 保育実習指導Ⅱ（保育所） 保育実習Ⅲ（施設） 保育実習指導Ⅲ（施設）	総合的な学習の時間の指導法	

備考：外国人留学生入試による入学者は、原則として「日本語と文化Ⅰ－1」「同Ⅰ－2」「同Ⅱ－1」「同Ⅱ－2」「同Ⅲ－1」「同Ⅲ－2」「同Ⅳ－1」「同Ⅳ－2」を「フレッシュマンイングリッシュⅠ-1」「同Ⅱ-1」に替えて修得する。